

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第6期 第6回豊島区環境審議会
事務局（担当課）		環境清掃部 環境政策課
開催日時		令和7年2月7日（金）10時00分～11時00分
開催場所		豊島区役所8階 レクチャールーム
議 題		1 開 会 2 議 題 （1）パブリックコメント実施結果報告及び計画（素案）見直し （2）第二次豊島区環境基本計画の中間の見直しについて（答申） （3）環境審議会の振り返り 3 閉 会
公開の 可否	会 議	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開 傍聴人数 3名
	会 議 録	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
出席者	委 員	蟹江憲史、関礼子、岡山朋子、高橋正弘、伊藤あすか、大嶋聡、 榊原清、塩田明央、島沢明史、岡村弘孝、小堀大藏、水埜多喜子、 村上政美、近藤正仁（豊島区都市整備部長）、 岡田英男（環境清掃部長）（敬称略）
	そ の 他	政策経営部SDGs未来都市推進担当課長、総務部財産運用課 長、総務部施設整備課長、環境保全課長、ごみ減量推進課長、 豊島清掃事務所長、生活衛生課長（代理出席）、都市計画課長、 交通政策担当課長、道路整備課長、公園緑地課長、教育部庶務課 長、教育部教育施策推進担当課長
	事 務 局	環境政策課長、環境政策担当係長（環境計画・事業・調整）、 同主事2名

審 議 経 過

【開会】

○会長

ただいまから第6期第6回豊島区環境審議会を開会いたします。

【出欠状況報告・傍聴者入場】

【議題(1)】

○環境政策課長

資料第6-1号、資料第6-2号、資料第6-3号 説明

○会長

ご丁寧の説明いただきましてありがとうございます。

それではパブリックコメント実施結果報告および計画の見直しについてという議題についてコメント、議論をお願いしたいと思っております。先ほどもご指摘ありましたけれども、皆さんの議論を通じての思いについては最後にお話をさせていただきたいと思っておりますので、計画の記載の中身についてこれからご議論いただければと思っております。

パブリックコメントについては特に計画の修正にかかるようなものはなく、むしろ区の考え方を改めて伺う機会になったのかなと思っておりますので、特に修正はないと思っております。

それから他の基本構想・基本計画との関係で修正されたところがありますけれども、特に大きな修正点はないように思いますが、皆さんの方からご意見ございましたらこの機会にいただければと思っております。よろしくお願いします。

オンラインも含めてご議論いただければと思います。

それではお願いします。

○委員

パブリックコメントなんですけれども、今回おひとりの方が4点ということだったんですけれども、前にゼロカーボン戦略をやったときは、確か50件くらいあったような気がしたんですけれども、今回何でこんなに少ないのかなとちょっと疑問に思いました。

○会長

それでは事務局からお願いします。

○環境政策課長

今回につきましては3名の方からという形で合計が4件という形でございました。

パブリックコメントは従来の方法でいろんな場所にも置いて行ったところではございます。今回こういった形でパブリックコメントの期間での意見というところはこのようなケースだったというところでございますが、計画の策定、この素案を策定する前の段階から区民の方、様々な意見を伺う機会という形で未来ミーティングですとかイベントの際とかのアンケートとか、そういったところで意見の方はいただいていたというところでございますので、そういったところのその前の段階から意見はいただいていたのかなというふうには考えているところでございます。

○会長

よろしいでしょうか。多分ゼロカーボンの方はかなり今関心も高くなっておりますし、今回のこの計画もそうですけど豊島区さんは割と広範にいろんな機会を通じて特に環境基本計画は、いろんな方のご意見を吸い取ろうとしてくださっているんで、特にコメントが少なかったというよりも、今回年末年始もかかりましたし、そういうことかと思えます。

それから我々の方でもかなりこの間ですね、この議論を詰めてやってきましたので、その辺りもパブリックコメントが少ないところにつながったという感じがします。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか？

今回中高生、高校生ですかね、ご意見を伺ったりという機会もありましたので、そういうところを通じていろいろ議論は広範にできたのかなという感じは私自身は感想としてあります。

お願いします。

○委員

目指すべき環境都市像のところなんですけども、これからきっとイメージ図が入ってくると思うんですけど、もうだいたい案はできているのですか。

○会長

ありがとうございます。事務局お願いします。

○環境政策課長

事務局でございます。本日イメージ図という形で、まだお示しができていないところではございますが、今策定のほうを進めているというところでございます。

具体的には、ここでもちろん掲げる2050年の時点でのゼロカーボンシティが目指している2050年の時点でのまちの姿ということで、ここに掲げている様々な施策もそうです

し、それからさらに進めた現在のこれからの都市像といったところをイメージしたまちの姿というところをこういうふうにしたもの、というものにしたいというふうに考えているところです。

○委員

それは池袋の駅のところを、西口東口が高架でつながるような、近未来的なその図ですか。

○環境政策課長

もちろんそのまち作りで、ちょうど池袋の辺りをイメージしたところというふうな形で考えてございまして、それにはもちろん再開発の状況ですとか、そういったものが実現して西口東口のまちの様子とか、そういったところも反映させて、そこでさらにその環境に関する様々な施策も進んでいるというふうなところをイメージ図として載せたいと考えているところです。

○委員

わかりました。

○会長

ありがとうございます。

なかなか 1 枚の図に表すというのは大変な作業だと思いますけれども、わかりやすい図を作っていただければと思います。

その他いかがでしょうか？

よろしいでしょうか。これまでいろいろ議論を重ねてきましたので、その中で皆さんのご意見は反映されてきたのではないかなというふうに理解しております。それでは今のご意見に関しては、イメージ図ができてきたところで事務局と私の方で確認させていただいて進めさせていただければと思っております。ありがとうございます。

それでは議題の（２）第二次豊島区環境基本計画中間見直しについて 答申に移りたいと思います。本件以降の議題の進行は事務局にお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

【議題（２）】

○環境政策課長

それではこれから会長から高際区長へ答申をしていただきますが、まず答申文の写しを委員の皆様方にお配りをいたしますのでこのまま少々お待ちください。

(答申文写し配布)

副会長につきましては画面の方をご確認いただきたいと思います。

また幹事の方は資料第 6-4 号をご覧ください。

皆様答申文の方は行き渡りましたでしょうか。それではただいまから第二次豊島区環境基本計画の中間の見直しの区長答申を行います。

会長、高際区長は前の方にお進みいただきたいと思います。

(机の移動、区長・会長前へ移動)

○会長

第二次豊島区環境基本計画の中間の見直しについて答申 令和 5 年 9 月 4 日付け、諮問第 1 号による諮問を受け、議論を重ねてまいりました第二次豊島区環境基本計画の中間見直しについて、別添の通り答申いたします。この計画に基づき、「みんなが主役 地球にも人にもやさしい 持続可能なゼロカーボンシティとしま」の実現に向けて、各施策に積極的に取り組み、豊島区の良好な環境が維持、回復、創出されることを期待いたします。令和 7 年 2 月 7 日 環境政策審議会 会長蟹江憲史

○区長

ありがとうございます。

○環境政策課長

ありがとうございます。それではこれから写真撮影に移らせていただきます。

(写真撮影)

○環境政策課長

ありがとうございました。

それではここで高際区長よりご挨拶がございます。

会長はお席にお戻りください。

〈区長挨拶〉

○環境政策課長

高際区長ありがとうございました。
それでは席の方を戻させていただきます。

(席を元に戻す)

【議題(3)】

○環境政策課長

それでは議題に戻りまして(3)審議会の振り返りということで、ここで委員の皆様から一言ずつコメントを頂戴できればと思います。会長は最後にまとめのお言葉をいただきたいと思いますので、まずは副会長からお願いをしまして、続いて席奥側におられます委員から委員まで、その後手前側の委員から委員という順でお願いをしたいと思います。

それではまずオンラインの副会長からお願いをいたします。

○副会長

こんにちは。最後の会議にオンラインで失礼いたします。第二次豊島区環境基本計画の中間見直し、今回、素晴らしいものとして出来上がってきたこと、関わってきた者としても嬉しく思います。

素晴らしい絵が描けたわけなんですけれども、その絵に立体感を与えて、色彩をつけていくというのはこれからの作業であるかと思います。

今後とも引き続き皆様と一緒にですね、豊島区の環境政策を見ていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○委員

専門は資源循環なんですけれども、こちら今回答申されましたものを見ていくと、この前の段階においては、残念ながら資源循環の部分だけがDプラスと一番低い評価になります。つまり一番進捗が悪かったということになってるんですが、ぜひこの新しくできたこの答申においては、資源循環の部分Aを取れるように、温かく見守ってかつ大学が豊島区にありますのでアクターの1人としても取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございました。

○委員

私は、環境教育とか意識啓発の部分を中心に見させていただきました。都市部の自治体としては本当に非常に良い環境基本計画になっているんじゃないかなと思っています。その理由として高校生とか大学生などの若者の意見を聞いたり、イベントのときに区民の方に意見を聞いたり、そういう場を私も何度か見させていただいて、本当に多様な人の意見が今回ここに集まっているんじゃないかなと感じました。そういう意味では先ほどパブリックコメントが少なかったかもしれないという話もありましたが、本当に

もう作成の段階で一生懸命やったのではないかなと思っています。

これからも引き続き関わらせていただいて一緒に進捗に取り組んでいきたいと思っています。今回はありがとうございました。

○委員

お願いします。本日答申ができて本当に良かったなと思っていますけれども、私もう70年近く池袋にずっと住んでおりまして、池袋は相当綺麗になりました。非常に環境が良くなったんですけど、豊島区のイメージって、いい意味に付け悪につけ池袋なんです。やっぱり池袋というのは副都心の街なんです。だからやっぱり池袋の環境をさらに整備していくということがやっぱりこれからさらに大事なのかなって思っています。

また何かお手伝いさせていただければと思っていますので、よろしくお願いします。

○委員

私は令和2年からずっと参加させていただいて、実はわがままを言ってこの答申が終わるまで、参加させてくださいということで、また公募に応募して、ここに参加しています。おかげさまで素晴らしい計画書ができました。もう私は歓喜しています。

この後、やっぱりどうもトランプさんのこともありますけれども、ちょっと環境問題がすっかりどっかへ飛んでしまっています。ですから、ぜひ自治体を中心に草の根で環境問題をしっかりと取り上げて、続けていただきたいと思っています。引き続き環境清掃部の皆様のご努力を、あるいはご尽力を期待しています。

今回見てる中で、職員のデコ活リーダーズというのが発足して取り組んでおられるということを拝見して、大変期待しています。

最後に当初の計画書の小学生版がありました。これが一番よくわかりやすかったと思っていますので、この新しい計画の小学生版の完成を楽しみにしています。以上です。

○委員

環境というと、最初の頃は何か綺麗なまちとかよい空気とかそういうイメージだったんですけど、もう今やPFASの数値はどうなのかとか、下水道管が壊れないかしらとか、もうそういういろんな心配もしなければならなくなったなと思う今日この頃です。先ほど区長さんがおっしゃった、自分ごととして捉えるというのはまさにそういうことで、例えば何か災害が起こっても、避難所に行って駆け込めばどうにかしてくれるっていうような、そういう意識でいると、もういけないんじゃないかなと、やっぱり3日は人命救助に皆さんかかるので、どうにかしていかなくやならないみたいな、そういう意識改革ももっともっとこれから必要になるのではないかなと思います。

区役所に関しては一つだけ横の繋がりをもっと大切にしてほしいと思います。例えば

池袋の森のトンボ池なんかは公園緑地課は木を切ってしまう、日陰をなくってしまったんですけれども、そこにはニホンアカガエルという希少なカエルがいて、それを守るのは環境政策課の方で、環境政策課に駆け込んだら調査をしてくださったっていうような話もありますので、そういう連携がないとやっぱり生物が大事なのか、木の様子が大事なのかっていうのを、そういうところを全部考えなきゃいけないなと思っております。ありがとうございました。

○委員

とても良いものができたなと思っております。私は小学校のビオトープの生き物の定点観測をしてまして、昨日ちょっと写真を見ていたら、5年前はアズマヒキガエルが3月の上旬に卵を産みに来てたんですね。昨年の写真では、2月の中旬に、産みに来てるっていうことで年々少しずつ早まってます。そういう自然環境とか、気候変動の全てが繋がっているんだなっていうのを実感しております。

とても良い物ができたので皆さん思いは同じだと思うんですが、私も絵にかいた餅にせず自分自身も、区の方々も、それから企業の方々も区民も、一緒に環境を良くしていこうという気持ちを醸成できていったらいいのかなって思います。本当にありがとうございました。

○委員

議論に係らせていただきまして本当にありがとうございました。本当に多くの方の意見を取り入れて、それができたということが本当に自分ごとのところに繋がるなあと感じてございます。ここからスタートということですね。エネルギー事業者としまして、「へらす つくる ためる」といったところのソリューションをしっかりと提供させていただいてですね、第三者のまちづくりのところに大きく貢献させていただきたいと思っております。

引き続きどうぞよろしくお願いします。

○委員

まずは、委員に選抜していただきましてありがとうございました。

改めて、豊島区に関する重要性を感じました。我々の仕事は、緑をつくり育てる、あるいは生きものと触れ合う環境を見守る、それから環境学習教育などもやっておりますけれども、議論の中でありましたみどり率ということが、豊島区は根本的ポテンシャル的に不利なんですね。水面も少ないしオープンスペースも少ない、そういった中で行政側はもちろんですが、民間の環境整備なりでいかに緑を増やしていくかということが本当に重要だと痛感しております。

今後とも、グループ共々、ウェルビーイングな環境づくりに貢献していきたいと思ってお

りますし、一生懸命ゴミも拾っていきたいと思っていますので引き続き
よろしくお願い致します。ありがとうございました。

○委員

私は令和6年、今年度から委員になった立場で町会連合会から来ております。

町会連合会の方で環境委員になれってということで指名されてきたんですが、この1年
なったんですが、ちょっと専門的な用語が多くて、当初、ちょっと戸惑っておりました。
この答申を見ますと、素晴らしいもので、私としてはただただ勉強の場という感じで参加
させていただきました。

町会としては一番の問題がごみです。ごみの環境がすごく問題になっておりまして、い
つも町会分会では問題になっております。その辺の環境問題が出るかなと思ったんです
があまり出なかったのも、今までさんざん出ていたんではないかなと思っております。
ただただ勉強になりました。ありがとうございました。

○委員

参加させていただいてありがとうございます。

我々も事業者としましてCO2の削減とか、廃棄物の分量の削減とか、そういったことは
もちろん取り組んできているが、今回この会に参加させていただきまして、実現できるよ
うにするにはどうするのかということと、あるいは区民の方がより多く参加して効果的
なやり方はどうすればいいのか、こういった視点を持ちながら、参加させていただいた次
第です。

また先ほどお話が出ましたが、専門の方からの意見も多く出てますし、区民の方からの
日頃から感じているお話も聞けましたので、今後の我々の活動の中でも生かしてまいり
たいと思います。この度は参加させていただきましてありがとうございました。

○委員

今回こういった会議に参加させていただきありがとうございました。当社は、お客様の
空調や給湯などに利用するための熱エネルギーを、冷水や蒸気として地区内のプラント
で集中的に製造し、配管網を通じて街（複数の建物）に供給しており、電気・ガスと同様
にエネルギーに関する社会インフラを担う会社であります。昨今の社会的な課題でもあ
る地球温暖化防止などの環境保全への貢献を目指し取り組んでおります。

今後、省エネルギー活動はもとより、地球温暖化対策として脱炭素化への取り組みを進
め、豊島区の掲げる「ゼロカーボンシティ」実現に向けて、環境性能の高い街づくりに貢
献できればと考えております。

○環境清掃部長

長い間、ご審議ありがとうございました。

この環境基本計画策定にあたって、区の基本構想基本計画との情報を同時並行で進めなければいけない中で、皆様方のいろんな様々な観点からご意見をいただきまして、本日の答申をその日を迎えたことを改めて御礼申し上げたいと思います。

計画ですから、今まで皆様方、これからということをご審議いただいたと思いますけども、区としては、まさにこれから今何をやるかと、今何をできるかという観点から、積極的に取り組んでいきたいというふうに思っています。最後に、11月1日付で実は環境政策課長の人事異動があるという非常に激動の中でも審議がございまして、今日担当課長が全て自分がやったかのような発言しています。それ以前に、前任の課長が、豊島未来会議とか、いろんな形でたくさん汗をかいたという中で、もちろん皆様方の積極的なご審議があつてのことですけれども、そういった中で、進められたことを非常に私も嬉しく思ったとともに、身の引き締まる思いをしているところでございます。今までご審議いただきましてありがとうございました。

○都市整備部長

本当に答申いただきましてありがとうございます。また事務局も、毎回資料作成本当に職員とすると結構大変だったなと思って本当にご苦労様でございました。私は今回の答申の中でやっぱりこの「各施策に積極的に取り組み、豊島区の良い環境が維持、回復、創出されることを期待します」と、この一文がやっぱり重いものがあるなって思っていて、ハードのまちづくりを担当する部長といたしましては後ろにずらっと課長がいますけれども、そういうところも含めてこれからのまちづくりもきちんと環境面も十分今までも配慮していますけど、これからもより一層配慮しながら、まちづくりを進めていきたいと思ってございます。どうもいろいろとありがとうございました。

○環境政策課長

ありがとうございます。では最後に会長からお願いいたします。

○会長

皆さん本当にこの間でですねご議論いただきましてありがとうございました。副会長それから皆様のご意見で、こういういいものができてきたと、それから事務局の方も本当に、前任の課長の多大なご尽力もありましたけれども、今の課長も11月から引き継がれて、なかなか最後の取りまとめが大変だったと思いますけれども本当にありがとうございます。

この審議会一番楽しくて、そしてまたなんていうか勉強になるのはですね、特に区民の委員の皆さんの意見が非常に活発に出てくる場所だと思っています。

先ほども、もう少し連携を取ってってというようなお話があつたりですね、ビオトープの

話があったり、我々なかなかそういうところまで目が行き届かないところがあるんですけどもやっぱり区民の方ならではですね。そういうご意見があって本当にいいものができていくっていうのをこのプロセスを通じて本当に強く実感しています。本当にご意見いろいろいただきましてありがとうございます。

ここから先、まさに大変なところだと思うんですけども、区長の話にもありましたけれども、やっぱり気候変動の影響を毎年のように激しくなっていて、そして去年はパリ協定の一番強い目標1.5度以内ですね、産業革命前と比べて気温上昇地球全体で1.5度以内に収めるという目標がありますけれども去年1年間で、既に1.5度を超えてしまったという状況で、これからますます大変になってくると思います。

パブコメにもありましたけれども、やっぱり気候変動への適応というのがこれから大事になってくると思いますし、暑くなる世界に我々どう対応していくのか、それからこういう大都市で、ゲリラ豪雨とかもっと頻発するように残念ながらなっていくと思いますけれども、そういったものに対応していく、その中で今回環境基本計画にありますけれどもウェルビーイングを向上していくっていう非常に難しいチャレンジが待っていると思いますけれども、環境軸にいろんな広がりを持って考えるというのは非常に大事なことだと思いますし、ぜひ、豊島区全体を、コーディネートするような形で、この計画を進めていっていただけるといいのではないかというふうに思っております。区長も大変お忙しい中、最後まで我々の意見を聞いていただきまして本当にありがとうございます。これから先、どうぞまたよろしく願いいたします。

○環境政策課長

会長どうもありがとうございました。それでは最後の進行を会長にお願いいたします。

○会長

了解しました。

皆様には昨年の3月から大変精力的なご議論をいただきまして本当にありがとうございます。それから運営についても格別のご協力いただきまして、本当に今日良い答申がまとめることができたというふうに思っております。本当にありがとうございました。

それでは以上をもちまして第6回豊島区環境審議会を閉会させていただきたいと思います。

皆さん本当にどうもありがとうございました。